

# 株主通信

## 第54期 中間報告

2025年1月1日～2025年6月30日

### ローランド株式会社

証券コード 7944



# WE DESIGN THE FUTURE

## トップメッセージ

株主の皆様には、平素より当社をご支援いただき、誠にありがとうございます。

昨年7月に社長に就任してから、早くも1年が経過しました。この間、米国の関税問題、欧州での複数のディーラー倒産、中国市場の停滞など、世界の主要市場で大きな変化が続いており、私自身も現地を訪問することで、当社を取り巻く事業環境の厳しさと不確実性を改めて実感しています。現地従業員には「危機を機会に」というメッセージを直接伝え、困難な状況を乗り越える力と可能性を共有してきました。

私たちは、世界中の多くのファンと情熱的なチームメンバーに支えられています。皆様と一緒に未来を切り開く企業として、更なる成長を目指さなければなりません。私が社長就任時に再定義した“WE DESIGN THE FUTURE”の言葉には、そのような決意を込めています。

電子楽器市場では、Wi-Fiなどの一般的な技術が未だ十分に活用されていないのが現状ですが、だからこそ楽器とインターネットを結びつける“Connectivity”を一層推進することで、より多くのユーザーの皆様と繋がり、新たな価値創造を実現したいと考えています。

現在、将来成長に向けた取り組みを新たな中期経営計画に盛り込むべく、社内外との対話を重ねております。グローバル市場の不確実性と複雑性が増す中でも、足元では関税影響を見極め、迅速かつ柔軟な意思決定を通じて市場の変化に対応し、持続的な成長の実現を目指してまいります。



代表取締役社長 CEO  
袁輪 雅弘

### ■ 2025年上半期の業績について

2025年上半期における当社グループを取り巻く世界経済は、米国の関税政策による混乱や、世界中に広がりつつある地政学リスク、不安定な為替動向など、引き続き不確実性の高い状況が継続しました。

電子楽器市場では、コロナ需要の後遺症ともいえる、小売店の在庫調整や需要の反動減も底打ちを見せ回復に向かっていましたが、米国関税政策の大幅な転換により、サプライチェーン、収益性、競争環境等、さまざまな面で影響が懸念されています。また欧州地区においては、楽器小売店間の競争激化により、一部の小売店が倒産するなど、引き続き不確実性の高い状況が継続しました。

当社では関税影響の最小化を企図し、今一度コストをゼロベースで見直す「守り」の戦略を即座に実行するとともに、ブランド力を活かした米国での価格調整や、生産地の見直し、相対的に関税影響が少ないことを活かした商談の強化など「攻め」の戦略にも注力し、危機を機会に変える取り組みを推進しました。

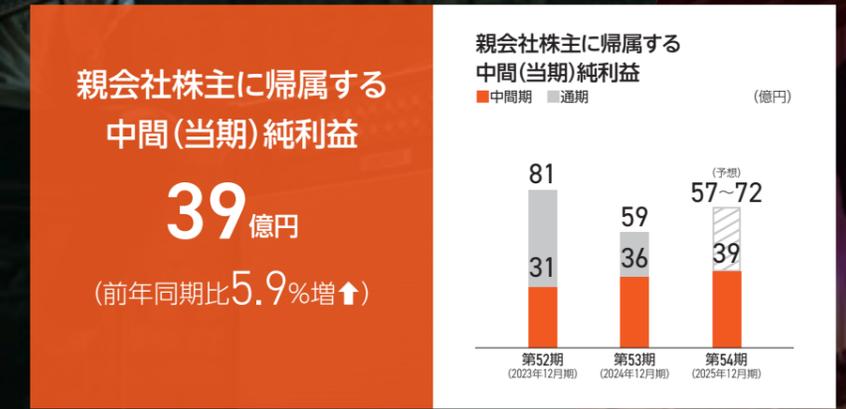
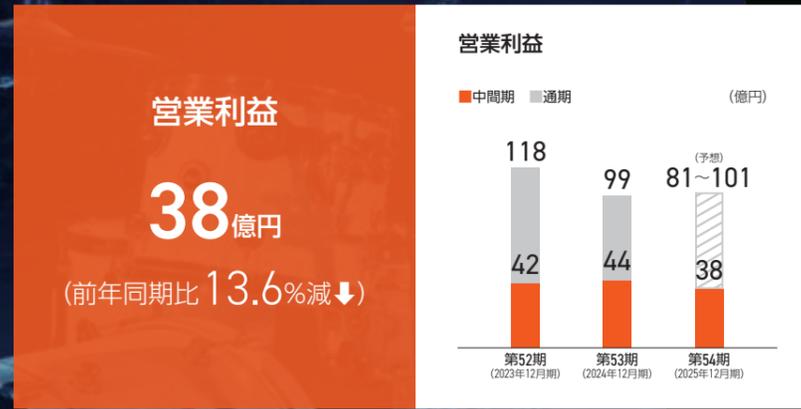
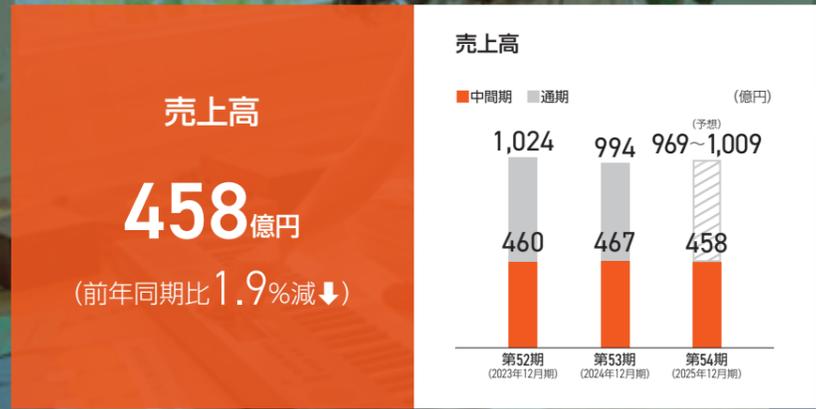
これらの結果、上半期は前年同期比減収減益となりましたが、**為替影響を除いた前年同期比では増収増益となり、社内想定線の着地**となりました。また、純利益は前年同期比増となりました。

### ■ 2025年下半年以降の見通しについて

2025年下半年においても、米国の関税政策に起因する不確実性の高い経済環境が継続すると見込まれます。電子楽器の需要に大きな混乱は見られないものの、関税によるコスト増加は、当社利益の悪化要因となる可能性があります。価格の適正化やコストコントロールに加え、シェア拡大や新製品の販売最大化にも注力し、影響の最小化に努めてまいります。関税の影響及び各施策の効果は、下半年以降に本格的に現れる見込みですが、現時点では**通期業績予想のレンジ内での着地が可能**と判断しております。なお、第3四半期の決算発表時には、現在のレンジ形式から固定値による業績予想への修正を予定しています。

中間配当は期初予想通り一株当たり85円を決定しています。期末配当についても、現在実施中の対策及び期待される効果を踏まえ、財務上の懸念がない限り、期初計画通り一株当たり85円を実施する予定です。

今後のローランドにご期待いただき、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



New 新製品トピックス

New Product

## 新次元のギター演奏体験を実現する 「V-Guitarプロセッサー」を発売

新方式デジタル・シリアルGKピックアップを取り付けたギターで革新的な演奏を実現するV-Guitarプロセッサー「VG-800」を発売しました。当社独自のギター・モデリング技術により、エレキギター・サウンドをさまざまな種類のギター、弦楽器のサウンドへと変貌させます。DUAL GUITAR機能では、2つの異なるタイプのギター・サウンドを同時に出力したり、弦ごとに異なるサウンドで演奏するなど、アイデア次第でオリジナルのギター・サウンドが完成します。



「VG-800」

New Product

## プロの要求に応える設計で充実の パフォーマンスを実現するステージ・ キーボードを発売

究極のパフォーマンスを求めるプレイヤーのために作られたステージ・キーボードの新シリーズ、「IV-STAGE 88」「IV-STAGE 76」を発売しました。アコースティック・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、オルガン、シンセサイザーの独立した4種類のサウンド・エンジンを搭載し、またそれら専用の操作子により、サウンドやエフェクトを素早く調整可能。表現力豊かなパフォーマンスと直感的な操作を実現しています。



左より「IV-STAGE 88」「IV-STAGE 76」

New Product

## 電子ドラムをワイヤレス化して 便利に使えるシステムを発売

電子ドラムをワイヤレス接続するシステム「DrumLink」を発売しました。Roland V-Drumsの音源とパッドの接続をワイヤレス化することで設定が効率的かつ迅速になるとともに、すっきりした外観も実現します。ワイヤレス・トリガー「WT-10」は、Rolandのドラム/シンバル・パッドの出力を無線に変換、「DrumLink Hub DH-10」は、最大15台の「WT-10」からの信号を受信し、V-Drumsの音源やPCの音楽制作ソフトウェアに送ります。



「WT-10」

Award 受賞

Award

## ローランドのデジタルピアノ 「LXシリーズ」が「iFデザイン賞2025」を 受賞

デジタルピアノ「LXシリーズ」(「LX-9」、「LX-6」、「LX-5」)が、国際的なデザイン賞である「iFデザイン賞2025」を受賞しました。今年度の「iFデザイン賞」では、約11,000の作品のエントリーがあり、「LXシリーズ」は、プロダクト分野のミュージカル・インストゥルメンツ部門で受賞。2019年に、当社のデジタルピアノ「LX700シリーズ」が「iFデザイン賞2019」を受賞して以来、6年ぶりに同シリーズの最新モデルが評価されることとなりました。

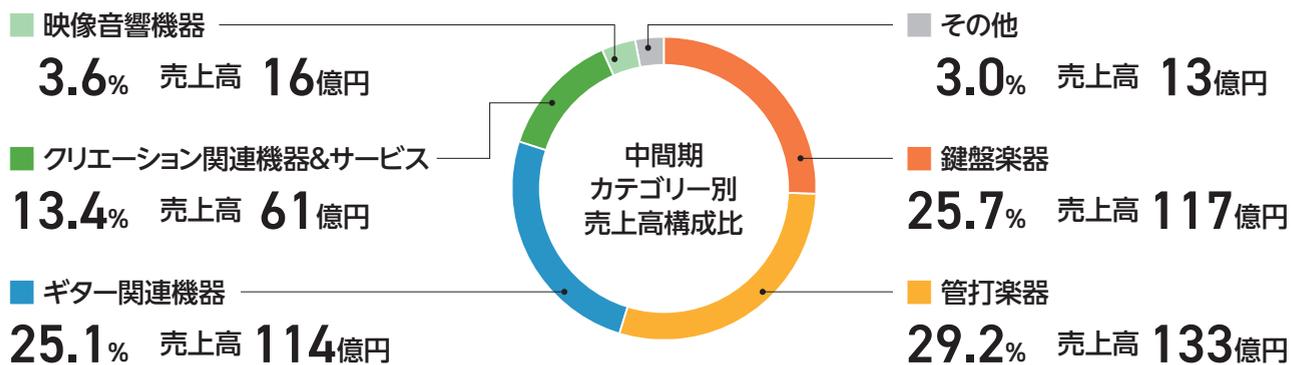


左より「LX-9」「LX-6」「LX-5」





財務情報等の詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。  
<https://ir.roland.com/ja/ir/finance.html>



## そこが知りたい 決算に関するQ&A

**Q** 米国関税政策の影響について教えてください。

**A** サプライチェーン、収益性、競争環境等、さまざまな方面で影響が出てくる可能性があります。当社では、コストをゼロベースで見直し、ブランド力を活かした米国での価格調整、生産地の見直しなど関税影響の最小化に努めています。

**Q** 中国の業績回復の見通しについて教えてください。

**A** 本格的な市場回復にはまだ時間を要すると認識しておりますが、双減政策などによる需要低迷の影響は一巡し、前年対比では下期から回復してくると思っています。

**Q** 中長期の生産地戦略に変更はありますか？

**A** 現時点で変更はありません。マレーシア、中国、台湾、日本、ベトナム、インドネシア、米国などでベストなミックスを常に検討しています。

**Q** 基幹システム更新を実施したと思いますが、問題なく稼働できていますか？

**A** 中長期的な事業拡大への対応として、「SAPS/4HANA」を導入し、基幹システムを強化いたしました。トラブルなく稼働開始しています。

**Q** 2月に主要株主である筆頭株主の異動がありました。経営方針や業績への影響について教えてください。

**A** MBOのパートナーでもあったTaiyo Jupiter Holdings, L.P.が主要株主である筆頭株主に該当なくなりましたが、経営方針や業績への影響はありません。

**Q** 為替感応度について教えてください。

通貨ペア	基準	売上高	営業利益
USD/JPY	1円円安になった場合	+約3億円	+約1.3億円
EUR/JPY	1円円安になった場合	+約2億円	+約0.3億円
EUR/USD	1セントドル安になった場合	—	+約2.0億円

### 免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。



## 「ロールランドの楽屋にて」



メルマガ登録は  
こちら



心をつかむ商品を次々と生み出すロールランドのヒミツとは？

それは「世界中の人々をワクワクさせたい」というチャレンジングな社風と社員にあります。

「ロールランドの楽屋にて」は、ロールランドの元社員がナビゲータ役となり、他では公開していない開発秘話や、社員の実態を発信するユニークなコンセプトのメルマガです。今回、3つのエピソードをご紹介します。続きが気になった方は、二次元バーコードから続きをお読みください。

BACKSTAGE  
PASS  
1

### もしも2階にドラマーが 住んでいたら？

続きはこちら



2024年秋にリリースした途端、「これで家族や近所に迷惑をかけることなく、家で存分にドラムを叩ける!」と大評判になったV-Drums Quiet Design (VQD106)。

世界の自宅ドラム難民を救い、2024年度グッドデザイン賞を受賞した“V-Drums史上最も静かなドラム・キット”は、とある開発リーダーの長年の夢と後進のエンジニアたちの使命感が結実して生まれた製品でした。想像を絶する苦難続きの開発舞台裏をご覧ください。



BACKSTAGE  
PASS  
2

### 社内ゲーマーが社長に企画を 直訴して通った話

「オーディオ・インターフェースと業務用音響機器の技術があるのだから、ゲーム配信に特化した高音質のオーディオ・ミキサーだって作れるはずです!」と社長に直訴したのは、意外な部署の社員？ 社内のあちこちに潜んでいたゲーマーたちが助っ人として一致団結？

ロールランドが初めてゲーミング市場に打って出た製品「BRIDGE CAST」。その紆余曲折の開発秘話をお届けします。

続きはこちら



BACKSTAGE  
PASS  
3

### ロールランド制服の思い出

現在、ロールランド社内は製造関係の現場以外は私服勤務ですが、そこそこ勤続年数の長い社員に「制服」と問いただければ、条件反射的に「ウルトラ警備隊!」と返します。

メルマガ編集部が社内に「あなたのロールランド制服の思い出を教えてください」と呼びかけたところ、社員たちの日々を長らく支えた通称「ウルトラ警備隊」の選考裏話から、製品キャンペーンなどで制作されたTシャツやトレーナーの「第二の人生」の話まで、さまざまなエピソードが集まりました。ロールランドの歴史の一部を、各年代を語る投稿写真とともにご紹介します。

続きはこちら



# 会社情報 (2025年6月30日現在)

## 会社情報

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
本社	静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1
設立	1972年4月18日
資本金	9,641百万円
従業員数	連結 2,988名 単体 889名
主要な事業内容	電子楽器、電子機器及び そのソフトウェアの製造販売並びに 輸出入

## 役員

代表取締役社長 CEO	蓑輪 雅弘
取締役	鈴木 康伸
社外取締役	生沼 寿彦
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド
社外取締役	片山 幹雄
社外取締役	山本 宏
社外取締役	武井 涼子
常勤社外監査役	今石 義人
社外監査役	石原 一裕
社外監査役	森住 曜二

### 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から 同年12月31日まで	公告掲載方法	電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載 URL) <a href="https://www.roland.com/jp/">https://www.roland.com/jp/</a>
定時株主総会	毎事業年度終了後3カ月以内		
配当金	期末配当金受領株主確定日 毎年12月31日 中間配当金受領株主確定日 毎年6月30日	株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 (連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1単元の株式数	100株		

※ 住所変更等の各種お手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

※ 支払開始日から満3年を経過していない未受領の配当金、及び特別口座に記録された株式に関するお手続きについては、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

サステナ  
ビリティ活動

## CDP「気候変動レポート2024」においてマネジメントレベルの 「B」スコアに認定

国際的な環境調査・情報開示を行う英国の非営利団体であるCDPの2024年気候変動に関する企業評価において、マネジメントレベルの「B」スコアに認定されました。この結果は、当社が「自社の環境リスクや影響を管理し、取り組みを行っている」ことが評価されたものです。

CDP評価結果は世界中のESG投資家が銘柄選定の指標にしており、24,000社を超える企業がCDPを通じて環境情報を開示しています。

ローランドは、環境への影響に対する説明責任や透明性など、持続可能な未来のために、継続して課題に取り組みます。

